

小城市過疎地域持続的発展計画（案）  
パブリックコメントの実施結果について

小城市過疎地域持続的発展計画（案）への意見を募集した結果、次のとおり御意見が寄せられましたので、それに対する市の考え方とあわせて公表します。

- 1. 意見募集期間      令和3年7月1日（木）～令和3年7月16日（金）
- 2. 意見者数            2件
- 3. 意見数              3件

番号	頁・項目等	意見	意見に対する市の考え方
1	9頁 第2章地域の持続的発展のために実施すべき施策 1. 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成 (3) その対策	移住・定住を促進するにあたっては、 ①農業との調和（調整）を図りつつ、住宅が立地しやすい環境づくりが大切です。 ②また、小城都市計画区域マスタープランに基づく小城市立地計画が策定されておりますので、芦刈居住誘導区域への住宅の立地を誘導すべきと考えます。 ③牛津居住誘導区域から芦刈地区（町分等）への住宅のスプロール化も考えられますので、農振との調整が必要でしょう。以上、他の計画との整合性を図った移住・定住促進が必要と考えます。 積極的に人口増を図るなら、居住誘導区域に子育て支援住宅や市が分譲宅地造成事業を行って民間の分譲住宅を誘導するのもいいと思います。	市としては、多極ネットワーク型のコンパクトシティのまちづくりを目指すため「小城市立地適正化計画」策定し、その中で御意見いただいた「居住誘導区域」を設定しています。 芦刈町では、芦刈地域交流センター「あしぱる」周辺を誘導区域として設定し、誘導をするための施策等を実施・検討してきております。 一方、御指摘の通り、芦刈町には多くの農用地（農業振興地域）が存在しているため、そちらとの調整を図ったまちづくりが必要となるかと思われます。 御提案いただいた内容につきましては、移住・定住を進めていく上で参考とさせていただきます。

2	<p>20 頁</p> <p>4. 交通施設の整備、交通手段の確保</p> <p>(3) その対策</p> <p>①道路</p>	<p>方針の中で「総合的交通体系のもと選択と集中により整備に取り組む。」となっております。そこで、(3) 其他対策①道路で「公共施設などを結ぶ」とありますが、定住を促進するためには公共交通機関などへのアクセスが重要であり、そのためには牛津駅と県道江北芦刈線を結ぶ道路の整備が必要です。定住者が福岡都市圏まで通勤できる利便性を図るべきと考えます。</p>	<p>市としては、住民の利便性の確保のために、公共交通機関へのアクセスは重要と考えております。</p> <p>御意見いただいた内容につきましては、今後の道路整備を進めていく上で参考とさせていただきます。</p>
3		<p>子供、孫と住みたいが、帰って来ても仕事を選べないし、収入面からも子供を育てるのに不安。</p>	<p>小城市過疎地域持続的発展計画(案)の第2章「2 産業の振興」、「(3) その対策」で「④企業の誘致」や「⑤起業の促進」の推進を行い、「6 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進」、「(3) その対策」、「①児童福祉」で子育て支援の充実を図るようしております。</p> <p>御提案いただいた内容につきましては、計画を進めていく上で参考とさせていただきます。</p>

御意見ありがとうございました。